

内田クレペリン検査とは

現在、年間100万人 60年以上の歴史の中で累計5,000万人以上の人々が受検している**最もポピュラーな適性検査**です。

2015年9月 各企業のご協力の下、ミャンマー人 約150名を対象に実施した当検査の結果を通じて

- ・ASEAN各国(タイ、ベトナム、フィリピン)との比較から見えたミャンマー人材の特徴
- ・ミャンマーの人材市場の魅力、秘められた潜在能力につき、新たな一面が見えました。

ミャンマー人は真面目？ ASEANの他国と比べてどうなのか？ といった

【ミャンマー人材に対する素朴な疑問】 に対する答えも検査を通じて一部見えてきました。

日本から開発元である日精研内田社長をお招きし、下記の通りセミナーを開催いたします。

【セミナーテーマ】

- 1) 内田クレペリン検査とは？
- 2) ASEAN各国(タイ、ベトナム、フィリピン)との比較から見えたミャンマー人材の特徴
- 3) ミャンマー人材市場の魅力・秘められた潜在能力（ポテンシャル）

【日時】 ① 10月22日(木) 15：30～17：00 (受付開始15時)

② 10月23日(金) 15：30～17：00 (受付開始15時)

【場所】 JETROヤンゴン事務所内 会議室 (Prime Hill Business Square 1F)

【応募方法】 J-SAT 桂川宛 (Email: katuragawa@j-sat.jp / Tel:09-2506-38530(mobile))にご連絡下さい。

■ どんなことがわかるのか？

通常、「知能」や「性格」を測るためには、2つ以上の検査の実施が必要となりますが、内田クレペリン検査はその

「①能力面の特徴(知能)」

「②行動面の特徴(性格)」

の両方をまとめて測ることができます。

課題や設問に答えるという検査ではないため、**受検者が意図的に結果を操作しにくい**という特徴もあります。

言語の制約が無いため、日本も含めた各国で、同じ基準で判定することができます。

■ どのようにつかわれているのか？

採用の場面で検査を導入し、**面接だけでは見抜けな**い特徴を知り、総合的な判断ができます。



応募者の特徴を知ることができるため、**採用後の配属や指導**にも役立ちます。

タイでは高架鉄道BTSでも安全管理のために使用されています。



数字の足し算しかしませんので、**各国で全く同じ検査**ができます。安全管理、品質向上に役立ちます。

ミャンマー国内での実施はこちらまで 桂川：09-2506-38530